

第3回 PDA 中学生即興型英語ディベート全国大会
The 3rd PDA Junior High School Parliamentary Debate National Competition

一般社団法人 パーラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

日程：2020 年 3 月 21 日（土）

会場：遠隔開催（Web ビデオ会議サービス Zoom を使用し遠隔にて実施）

主催：一般社団法人 パーラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

共催：大阪府立大学

後援：朝日新聞社、朝日中高生新聞、一般社団法人 日本英語交流連盟

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

協賛：ヤマハ株式会社

開催趣旨：

一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会(PDA)では、グローバルに活躍する人財育成の一手法として、英語での発信力、論理的思考力、幅広い知識・考え方、プレゼンテーション力、コミュニケーション力などの複数の力を効果的に訓練可能な即興型英語ディベートを推進しています。

本大会では、即興型英語ディベートの普段の練習の成果を試し、全国の高校生と議論を交わすことで、さらなる成長・学習意欲を促すことを目的とします。授業での取り組み成果を発揮できるよう、形式は授業導入可能なフォーマットです。

（参照：文部科学省助成事業 <http://englishdebate.org/debate/>）

参加校：（青森県）八戸聖ウルスラ学院中学校 ※

（栃木県）栃木県立宇都宮東高等学校附属中学校

（茨城県）東洋大学附属牛久中学校

（千葉県）翔凛中学校 ※

（東京都）筑波大学付属駒場中学校 ※

（東京都）東京都立小石川中等教育学校

（東京都）東京都立両国高校附属中学校 ※

（東京都）千代田区立九段中等教育学校

（東京都）渋谷教育学園渋谷中学校 ※

（神奈川県）栄光学園中学校 ※

（神奈川県）洗足学園中学高等学校

（神奈川県）聖光学院中学校 ※

(愛知県) 東海中学校 ※
(兵庫県) 神戸大学附属中等教育学校 ※
(福岡県) 福岡雙葉中学校 ※
(熊本県) 熊本県立八代中学校 ※

申込校 16 校、参加校 11 校(※)

タイムスケジュール：

12:00 開会式
12:20 予選 1
13:30 予選 2
14:40 決勝進出チーム発表、決勝準備
15:00 決勝
15:20 レクチャー
15:40 表彰式、アンケート
16:00 終了

ご挨拶：

新型コロナウイルス感染症の影響で、本全国大会は遠隔（オンライン）で実施させていただくこととなりました。大会開催にあたりこのような状況の中、迅速な機材提供にご協力いただきました公益財団法人 KDDI 財団、ヤマハ株式会社に心よりお礼申し上げます。

今回の全国大会では状況が刻々と変化する中、教員、生徒の皆様には多くのご心配をおかけしたことと思います。学校への登校がままならず、ディベートへの準備が十分ではないと不安な生徒もいると思います。しかし、テクノロジーを最大限活かし、未来を担うみなさんの“学びを止めない”ことが重要であると思います。本日は、遠隔での全国大会に緊張している方も、画面を通して積極的に参加し、たくさんのことを学んでいただけたら幸いです。

一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）代表理事
中川智皓（大阪府立大学工学研究科・准教授）

キーノートスピーカーからのメッセージ：

即興型英語ディベート全国大会のオンライン開催おめでとうございます！

現実世界とサイバー世界とが継ぎ目なく繋がり、空間を超えて世界中の仲間と議論を深め、新しいものを生み出していく、そういった社会がすぐそこまで来ています。これまで直接会わないとできないと思っていたことが、どんどんネットワークを介してできるようになってくるでしょう。

皆さんは、「オンライン即興ディベート」という、とても先端的な取り組みのトップバッタ

一ですね。きっと、オンラインではここが良かったな、ここが難しかったな、といった新しい発見がたくさんあると思います。是非、ワクワクする体験を、仲間たちと一緒に作っていきましょう！

キーノートスピーカー 大阪大学 大学院基礎工学研究科 准教授
岩井 大輔 氏

予選 1

中学校へのお菓子・ジュースの持参を認めるべきである。

Bringing snacks and soft drink to junior high school should be allowed.

予選 2

新型コロナウイルス対策での全校休校は、害よりも利益をもたらした。

Closing schools to combat the COVID-19 has brought more benefits than harm.

決勝

亡くなった人をバーチャルで再現することは、害よりも利益をもたらす。

Recreating the dead in VR does more benefits than harm.

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、第3回 PDA 中学生即興型英語ディベート全国大会は遠隔（オンライン）で実施することとなりました。KDDI 財団様、ヤマハ株式会社様のご協力により、タブレットノートパソコンと Wi-Fi、ヤマハマイクスピーカーを各校へお送りし、自宅待機中の生徒は自宅から参加しました。



開会式がはじまりました。申し込んだ 16 校と実際に参加する 11 校が紹介されました。メインテーブルである Zoom（Web 会議サービス）ミーティングルームへ 60 を超える中学生・教員・保護者・見学者のアカウントが集まりました（1つのアカウントにつき複数名が参加している学校もあります）。大会でのルール諸注意、POI（Point of Information: ディベート中の質疑応答）の練習などを行いました。学校が休校となり、思うように練習ができず緊張していると話す生徒もいましたが、POI の練習で“POI！”と言いながら POI のポーズをすることで緊張がほぐれているようでした。その後、ジャッジへの諸注意や Zoom 上でのプレパレーション（ディベートの準備）に関する説明が行われました。

Recording スピーカーの表示 表示設定 スライドショーの終了 オプションを表示

0:04:37 12:16

12:00~12:20 開会式

ルール確認

Government

Prime Minister (PM) 3分

Member of the Government (MG) 3分

Prime Minister Reply (PMR) 2分

Opposition

Leader of the Opposition (LO) 3分

Member of the Opposition (MO) 3分

Leader of the Opposition Reply (LOR) 2分

POI

定義を行い、肯定する理由1を述べる。

前半1.5分

否定する理由1へ反論、肯定する理由1の再構築、肯定する理由2を述べる。

後半1.5分

肯定する理由1へ反論し、否定する理由1を述べる。

肯定する理由1、2へ反論、否定する理由1の再構築、否定する理由2を述べる。

前半1.5分

後半1.5分

否定する理由2へ反論し、Governmentチームが勝っている理由をまとめる。

肯定する理由1、2へ反論、否定する理由1の再構築、否定する理由2を述べる。

後半1.5分

Oppositionチームが勝っている理由をまとめる。

スライド 12/42

ミュート解除 ビデオの開始 招待 参加者 画面を共有 チャット レコーディング 反応

ミーティングから退出

画面共有でルール確認・POIの練習

Recording スピーカーの表示 表示設定 スライドショーの終了

0:05:50 12:17

12:00~12:20 開会式

注意事項

- スピーチはパソコン(マイク)に向かって話す。
- プレパレーションは15分。
(ディベートをするテーブルのミーティングに入ると、スタッフがプレパレーション用のブレイクアウトルームを作成します。)
- 各チームで論点を2つ出す。それぞれのサインポストをPMまたLOが述べる。
- スピーチ / POI以外はミュートにする。
- POIは、いつ行ってもよい。(15秒以内。立って行う。)
- ラウンドが終われば、握手を交わす。

スライド 13/42

ミュート解除 ビデオの開始 招待 参加者 画面を共有 チャット レコーディング 反応

ミーティングから退出

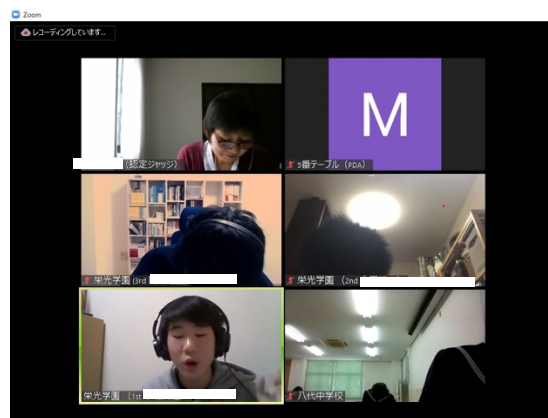
ラウンド終了後の握手(エア握手)の練習

開会式が終わるといよいよ予選1です。メインルームで対戦表と論題が発表されると、各チームは自分たちがディベートを行う Zoom のミーティングルームへ移動します。その後、ブレイクアウトルーム (Zoom のミーティング上で別々のセッションに分割する仕組み) が作成され、スタッフが各生徒を Government (肯定側) と Opposition (否定側) に振り分け、各チームがチームメイトと準備を開始しました。予選1の論題は、“**Bringing snacks and soft drink to junior high school should be allowed. (中学校へのお菓子・ジュースの持参を認めるべきである。)**”です。健康が損なわれるか否かについてや、授業に集中できるか否かなど自分たちの身近な例をあげながらディベートが行われました。ディベートが終わるとジャッジからフィードバックが行われました。生徒はジャッジから言われたコメントを聞き、また質問をしながらディベートに対する理解を深めていきました。



筑駒(東京) vs 神大附属(兵庫)

チームメイトが一堂に会したチームと自宅から参加したチームがありました



栄光(神奈川) vs 八代(熊本)

画面の向こう側にいるジャッジに向けてスピーチを行います

予選2の論題は、“**Closing schools to combat the COVID-19 has brought more benefits than harm. (新型コロナウイルス対策での全校休校は、害よりも利益をもたらした。)**”です。コロナ感染の予防になったと話す Government に対し、Opposition は卒業式が行われなかったことや、自宅待機により保護者が仕事を休まなければならない現状などを説明しました。



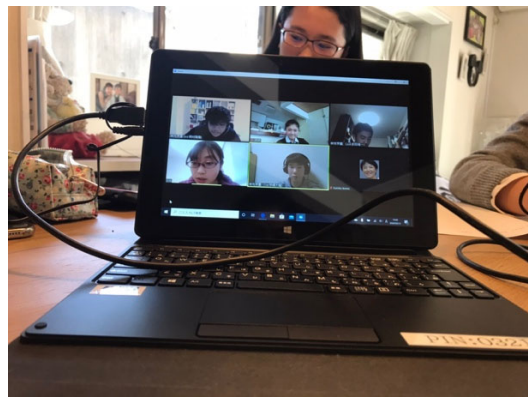
聖光(神奈川) vs 両国(東京)



※本部 (大阪府立大学会場) から撮影



聖光(神奈川) vs 両国(東京)
※両国チームから撮影



栄光(神奈川) vs 渋谷(東京)



栄光(神奈川) vs 渋谷(東京)



自宅からの参加 神大附属(兵庫県)



東海(愛知) vs 神大附属(兵庫)



八代(熊本) vs 八戸ウルスラ(青森)

(写真) 公益財団法人 KDDI 財団様からのタブレットパソコンと Wi-Fi、ヤマハ株式会社様からのマイクスピーカーを使用した実践の様子。プロジェクターを用いてスクリーンで見た会場もありました。相手のスピーチもはっきりと聞き取ることができ、相手チームやジャッジの顔を見ながらディベートを行い、まるで同じ教室で一緒にディベートしているかのように対戦し、交流を深めることができました。

2 戦目が終了すると、再度メインルームに設定されている Zoom のミーティングルームへ移動しました。休憩時間をはさんでから、決勝戦進出チームの発表がありました。

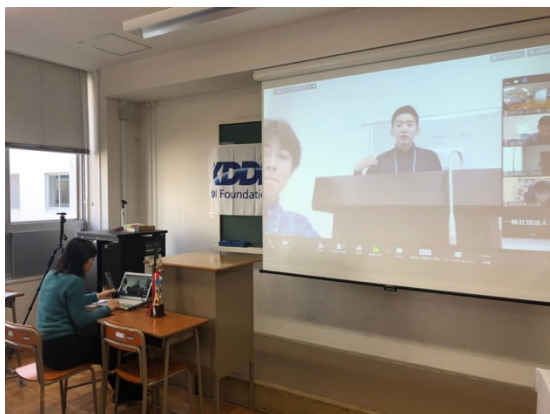


ドキドキしながら決勝戦進出チームの発表を待ちます

決勝戦の論題は、“**Recreating the dead in VR does more benefits than harm. (亡くなった人をバーチャルで再現することは、害よりも利益をもたらす。)**”です。多くの生徒や教員を前に堂々とスピーチを行いました。両チームとも深い分析を行い、また鋭い反論を行い、決勝戦らしい白熱した議論が繰り広げられました。

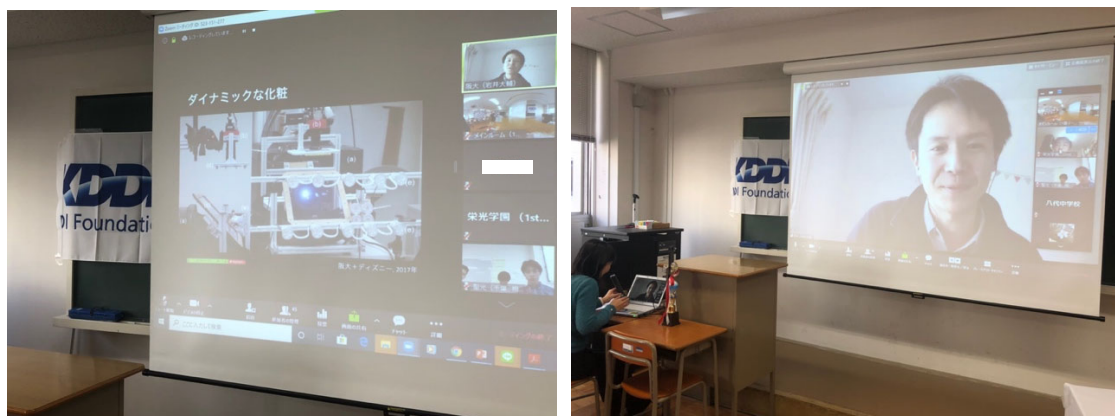


画面に多くの観客が映る中、堂々とスピーチを行います



ディベートが終わるとエア握手を交わします

決勝戦の結果が出るまえに、本大会のキーノートスピーカーである大阪大学大学院基礎工学研究科准教授である岩井大輔氏より、決勝戦の論題であった VR などの最先端のテクノロジーに関するキーノートレクチャーを行っていただきました。プロジェクションマッピングなどの様々なテクノロジーについて解説をしていただき、質疑応答になると生徒は活発に質問を投げかけました。遠隔での全国大会となったからこそその貴重な話題提供で、学びの質を高めました。



岩井氏(大阪大学准教授)による最先端技術 (VR およびプロジェクションマッピングのキーノートレクチャー)

キーノートレクチャーが終わると表彰式・閉会式が行われました。各学校へはタブレットパソコン・Wi-Fi・スピーカーに加え、VR ゴーグルが送られており、表彰式では VR ゴーグルを用いることで会場にいるかのような臨場感を味わうことができる動画を紹介しました。閉会式では生徒が「コロナウイルスの影響で学校が休校となり、思うように練習できない中での大会となった。しかし、一番のパフォーマンスを発揮することができた。勉強になった。」と感想を述べました。PDA 代表理事中川より、「練習できないから大会に出ないと決めてしまっては、成長の機会を失ってしまうことになります。もちろん、それぞれに色々な事情があると思いますが、様々な方法を駆使し、チャレンジすることは重要だと思います。これからも成長の機会を逃さず、最大限に活かすよう頑張ってください。」とエールが送られ、第 3 回 PDA 中学生即興型英語ディベート全国大会の幕を閉じました。



表彰式・閉会式の様子

第3回 PDA 中学生即興型英語ディベート全国大会結果

<チーム賞>

優勝：栄光学園中学校

準優勝：聖光学院中学校

第3位：筑波大学附属駒場中学校

第4位：渋谷教育学園渋谷中学校

第5位：東京都立両国高校附属中学校

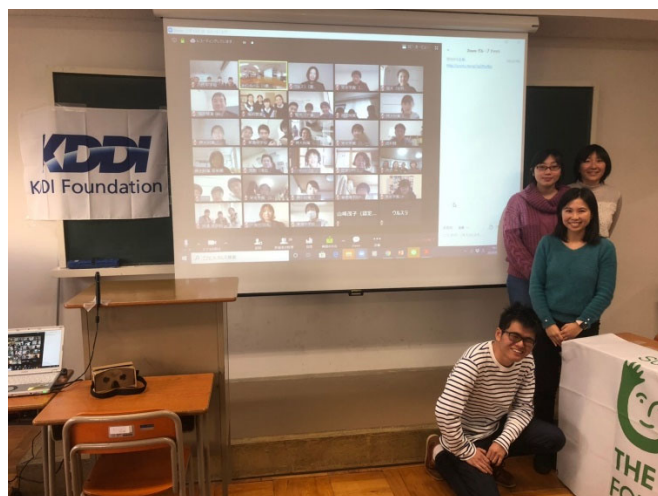
<個人賞>

ベストディベーター賞：12名

ベスト POI 賞：9名

<予選結果>

- 1位 聖光学院中学校
- 2位 栄光学園中学校
- 3位 筑波大学附属駒場中学校
- 4位 渋谷教育学園渋谷中学校
- 5位 東京都立両国高校附属中学校
- 6位 神戸大学附属中等教育学校
- 7位 福岡雙葉中学校
- 8位 翔凛高等学校
- 9位 熊本県立八代中学校
- 10位 東海中学校
- 11位 八戸聖ウルスラ学院中学校



参加者と大会本部メンバーの集合写真

アンケート（抜粋）

1. 生徒の感想

- ・とてもレベルが高いディベートの中でベストディベーター賞に選ばれたのは自信になりました。また、同年代の人たちがすらすらと自分の意見を言っているのを聞き、自分の英語力をもっとつけなければいけないと思いました。（八代(熊本)・3年）
- ・他校との交流と共に、多くの学びがあり、とても実りの多い時間をすごさせていただきました。ありがとうございました。（神戸大附属(兵庫)・3年）
- ・ジャッジの先生方に丁寧にアドバイスを頂けたのでとても良かったです。今後に生かしたいと思います！何よりコロナウイルスの影響がある中開催して下さった事に感謝したいです。（神戸大附属(兵庫)・3年）
- ・全国の学校と交流できてよかったです。（東海(愛知)・3年）
- ・負けてしまったので悔しかった。高校生になるので次の大会までにより良いスピーチができるようになりたいと思った。（聖光(神奈川)・3年）
- ・とても緊張したけど、練習した成果がきちんとあらわれていたし、チームとの絆が深まった！日本全国の同じ年代の英語のレベルを知る事が出来たので良い経験でした！これからも英語を頑張ろうと思えました！（福岡雙葉・2年）
- ・他校と対戦することで、いつもより大きな学びを得ることができました。ジャッジの方々からもフィードバックを細かくもらえたため、とても勉強になりました。また、他校の方々と交流することもできてとても良かったと思います。（神戸大附属・2年）
- ・個人的には悔しい結果だったが、貴重な経験になったので、この大会を開催して下さったことに感謝したい。（渋渋(東京)・3年）
- ・他校の方やジャッジの方々とスムーズにディベートをし、その後にフィードバックを頂けて、とても意義ある時間を過ごせました。（渋渋(東京)・3年）
- ・多くの人と触れ合え、論題も良いものだったため、とても自分のディベートの技術にとっていい経験となった。（筑駒(東京)・3年）
- ・やはり、大会という形式でディベートをすることにいみがあるとおもい、良い機会になっていると思います。（栄光(神奈川)・3年）
- ・英語にもディベートにも自信はなかったが、話し合いが成り立つことが分かったから。また、1人で参加という大変貴重な経験をすることができた。生まれて初めてのPOIで賞を頂いたのも自信に繋がった。（八戸ウルスラ(青森)・3年）

2. 教員・見学者の感想

- ・このようなレベルの高い中学生ディベート大会に参加させていただき本当に感謝しております。生徒たちは練習から本番迄一生懸命頑張る姿を見せてくれました。今回の大会は私にも生徒にもより高みを目指す良い機会となりました。ジャッジの方も親切に講評して下さい、これからの練習の励みになりました。本当にありがとうございます。
- ・これだけの人数でここまでスムーズにできたこと自体が感動でした！
- ・コロナウイルスの影響で遠隔開催に結びつけるのが大変ご苦労されたと思います。それでも学びを止めない姿勢に感銘を受けました。お疲れ様です。
- ・ヤマハスピーカーの使用は音も良く、選手は立ってスピーチできるのが良いと思いました。
- ・コロナ騒動であらゆる活動ができない中、貴重な機会をくださり、生徒たちにとって素晴らしい経験をさせていただきました。
- ・地方にいるが、他校ともっと様々な形で交流ができるのではと、今後に新たな可能性を見出すことができた。チームとして同じ場にメンバーが集まれば、(オンラインでも)あまり問題はないと感じた。ただし、直接的な交流を持てたら、やはり生徒にとってより刺激になると思う。

3. キーノートレクチャーについて

- ・とても興味深い内容で、面白かったです。技術の発展や、それを生活の中でいかせるのだということにとっても驚きました。色々な技術についてもっと知っていけたらなと思いました。
- ・VR 技術研究の目的が分かってよかった。
- ・興味深い内容でした。私が思っているより技術が進んでいて、たくさんの新しいことを知ることができました。
- ・最先端の科学技術を使って生活を便利にするような研究をしていて興味を持ちました。
- ・元々興味があったので面白かったです。また議題に関連する話題だったので、改めてディベートは話す力だけでなく知識や話す中身が大切なのだと感じました。時代の最先端について話し合えるディベーターになりたいです。
- ・面白いビデオなどを見ることができ、いつもは気にしない最先端のテクノロジーを見ることができました。
- ・少し自分の興味範囲と違ったのですが、日常聴聞けない話が聞けて、良かったです。

以上

<個人賞>

ベストディベータ賞

- 1位 —— (栄光)
- 1位 —— (聖光)
- 1位 —— (翔凜)
- 4位 —— (筑駒)
- 4位 —— (筑駒)
- 4位 —— (両国)
- 4位 —— (両国)
- 4位 —— (渋谷)
- 4位 —— (聖光)
- 4位 —— (神大附属)
- 4位 —— (福岡雙葉)
- 4位 —— (八代)

ベスト POI

- 1位 —— (筑駒)
- 2位 —— (八戸ウルスラ)
- 2位 —— (両国)
- 2位 —— (栄光)
- 2位 —— (聖光)
- 2位 —— (東海)
- 2位 —— (神大附属)
- 2位 —— (福岡雙葉)
- 2位 —— (八代)